

会議録(概要)

会議の名称	令和4年度 第1回 佐渡市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和4年7月6日(水) 午前10時00分から11時30分
場所	金井コミュニティセンター 大会議室
議題	(1) 令和3年度 男女共同参画事業について(報告) (2) 令和4年度 男女共同参画事業について(計画案) (3) 男女共同参画推進セミナー開催について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者4名、公募参加者1名 事務局：市民課 課長 倉内 学 人権啓発係 係長 本間 香代子 主任 尾崎 裕樹
会議資料	・資料 No.1 令和3年度 男女共同参画推進事業報告 ・資料 No.2-1 令和4年度 男女共同参画推進事業計画(案) ・資料 No.2-2 令和4年度 男女共同参画計画事業予定 ・資料 No.3-1 令和4年度 第1回男女共同参画推進セミナー企画書 ・資料 No.3-2 令和4年度 第2回男女共同参画推進セミナー企画書
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
倉内課長	あいさつ
座長 尾崎主任 A氏 尾崎主任 A氏 尾崎主任 A氏	(1) 令和3年度 男女共同参画事業について報告をお願いします。 (資料 No.1 に基づき、概要説明) 職員研修の周知はどのようにして行ったのか教えてほしい。 職員が利用している情報系システムの掲示板で周知を行った。また、何人かに参加の依頼をしたと思う。 男女や役職や所属課など一切問わず正職員・任用職員含めて全職員へ周知したという理解の仕方でもいいか。 はい、全職員に対して周知を行った。 全職員に周知したにもかかわらず、これだけの人数しか参加しないのは、業務に忙殺されて参加できないのか、興味がなく参加しないのか。

倉内課長	声掛け方法など見直しながら今年度は開催したい。
B氏	任意参加ということだが、今後は各部署から1名参加するなどの構想はあるのか。
倉内課長	人事担当との調整が必要になるので、人事と相談しながら開催方法を考えていきたい。今月から庁内研修が始まるが、現状は申し込みなしで当日参加という案内になっているので、どういった形でやるのがよいか考えていきたい。
B氏	日本は非常に遅れていると言われているので、まずは官公庁から進めていく事が大事だと思う。受講された職員は受講後に研修で受けた内容を広げるような活動が大事だと思うがその辺はどうなのか。
倉内課長	追跡調査までは行っていないので、どこまで追いかけられるか難しい部分があると思うが、どう広げるかについて例えば受講後にアンケートを取るみたいな形はできないことはないと思うので、そういうところから検討していきたい。
B氏	受講者の中で為になったねってだけで終わっているとしたらもったいない事だと思う。
座長	いろいろなご意見をいただきました。庁内研修についてご意見をいただいておりますが、やはり任意参加となるとこの時間帯には参加者は多分ないだろうというのは容易に想定できるので、任意参加にするのであれば業務時間外の18時以降にやるとか、業務でやるのであれば対象者を確定させて業務の中で参加してもらおう方がいいと思うので、今後調整して行ってもらいたい。次に、令和4年度 男女共同参画推進事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。
尾崎主任	(資料 No. 2-1、2-2 に基づき説明)
C氏	ブースへの出展というのは何をするのか。
尾崎主任	人権展で作成した簡単なクイズをしたり、チラシを配布したりするなどの啓発活動を行いたいと考えている。
C氏	地域振興セミナーについてチラシを見て何をやるセミナーなのかなと思った。佐渡は中小企業と小さい企業がとても多く家族経営が多いので、庁内推進施策にある家族経営における適正な労働時間や休日の確保等就業条件の整備は非常に重要であるからそこも出した方がよいと思う。
D氏	雇用促進協議会からセミナーをやりますと言われている。連携が始まったことはいいことだが、もう少し詳しく内容が分かるようにした方がよい。
A氏	地域振興セミナーには会社からの案内で何回か参加したことがあるが、なかなか平日の昼間は都合が付きにくく参加の機会は開催回数の割には多くない。参加して感じたことは参加者には男性が多い。女性の事務員やパートさんがいる会社でも会長や所長が来ていたがどうしてそういう人がくるのだろう、パートさんなど違う人を出せばいいのと思うことがあった。市民課が主催している訳ではないので、市民課に言ってもしょうがないが、せつかく開催するなら内容や参加者を突き詰めていくことで今後さらに素晴らしいものになっていくのではないかと。
倉内課長	頂いたご意見は産業振興課にお伝えし、今後どのようなやり方がよいか検討して

	もらう形にさせていただきたい。
A 氏	事業予定が多岐に渡っていて、これは男女協同参画のテーマに無理やりこじつけて入れてあるのではないかと思うものがある。計画の中で女性の参画を促進する団体等への支援があり、事業予定はきらきら塾の事業開催への協力とあるが、きらきら塾は丸2年間まったく活動していない。昨年度からの継承で上がってきた項目をそのまま入れているだけだと思うが、活動していない団体を載せるのはよくないので、他にどのような団体が活動しているのか調査をしてその団体を載せるべきである。
倉内課長	頂いた意見についてこちらでも調べてみるが、掘り起こすのが難しいので皆様から情報をいただきたい。
C 氏	一つの提案として、NPO法人であれば定款の活動分野の項目に自分たちが支援する項目を出しているのだから、そこから探してみてもどうか。
座長	ここの部分については、どこまで出来るかわからないが、内容を見直すのか検討していただきたい。ちなみにこの計画はどの段階で決定するのか。
倉内課長	3月議会で予算が確定しないと事業予定に載せられないので、予算確定後に各課に照会している。
座長	(3) 第1回男女共同参画推進セミナー開催について事務局より説明をお願いします。
尾崎主任	(資料 No. 3-1 に基づき、説明)
C 氏	セミナー後に動画などで公開されるのか。それとも参加者しか聞くことが出来ないのか。
倉内課長	今のところ公開は予定していない。
A 氏	佐渡市のホームページやYouTubeで公開できないのか。
倉内課長	佐渡市のホームページでの公開は難しいと思う。今年度は難しいかもしれないが、来年度以降調整が付けばケーブルテレビに市のチャンネルがあるので放送できるか検討していきたい。
A 氏	もし可能であれば佐渡テレビで放送することで、LGBTをよく理解していない世代の人たちが少しでも気に留めてくれればと思う。性の多様性について理解を深める一番いい方法は教育だと思う。先日支援学校にお邪魔させていただいたが、先生方は男女や障害の程度など一切関係なく生徒をさん付けで呼んでいて、平等というかみんなそれぞれが尊重されている感じがしてすごくいいなと思った。昔は女の子は赤いランドセルで男の子は青いランドセルという考えだったが、今は女の子でも茶色いランドセルとか男の子でも赤いランドセルなどそういうのが無くなってきているので教育というのは凄く大事だと思う。そういう教育を受けられなかった世代の方々に知っていただくためにも、ケーブルテレビでの放送可能かを確認し、放送して構わないのであればセミナーに参加できない方にも告知できるので提案させていただいた。
倉内課長	次年度以降については検討していきたい。
A 氏	セミナーを全て放送しなくても、新潟日報などメディアに取り上げてもらって記

	事にしてもらったらどうか。
倉内課長	プレスリリースは行う準備している。
C氏	このチラシをどのあたりまでどのようにして周知するのか。
倉内課長	プレスリリースを行うので、112チャンネルでも周知する。
C氏	一番変えていきたい世代がターゲットになる。今の子どもたちは包括的性教育にLGBTQが当たり前のように入ってるので、ついてこれない人たちの目に付くところにLGBTQを入れてほしい。なのでターゲットがよく見えるところにポスターがあってほしい。以前からポスターだけでもLGBTQを出しませんかと話しているので、そういう方たちに意識してもらわないとパートナーシップ宣誓制度を作っても理解してもらえないと思う。
座長	周知方法については色々な意見があったが、我々よりも上の世代の目に触れるところに出していただきたい。 第2回男女共同参画推進セミナー開催について事務局より説明をお願いします。
尾崎主任	(資料No. 3-2に基づき、説明)
座長	内容は未定なのか。
倉内課長	タイトルは未定だが、内容はアンコンシャスバイアスなどについて正しく理解していただこうと考えている。
A氏	この企業向けセミナーに関しても新潟県女性財団とタイアップして講師派遣など連携できているのか。
尾崎主任	現在、新潟県女性財団が講師候補の方にコンタクトを取っている。
C氏	セミナーは講演を聞くだけなのか。ワークショップも入るのか。
尾崎主任	講演を1時間程度、残りの1時間をグループワークと想定している
C氏	アンコンシャスバイアスは凄く難しく、例えば男女共同参画は女性の問題と考えてしまいがちだが女性だけでなく男性もどちらももつ問題であるということがなかなか通じない。開催する側がそこを理解しているのか疑問がある。
倉内課長	1回のセミナーで考えが変わるとは思っていないので、継続して啓発することが大切だと考えている。
C氏	男性側で男性が考えを変えるにはどうすればよいか。
D氏	回数を重ねていくしかない。1回の植え付けで変わるのは難しい話だし、女性もそうだと思うので、繰り返しやっていくしかないのだと思う。
C氏	経営者や人事はターゲットとして合っていて、まずは男性が育休などを取る相談を気軽にできればよいが、例えば子どもが休みますとなり迎えに行かなければならない時にそれは妻に行かせればいいじゃないかというような職場はこのセミナーに参加してもらいたい。
座長	職場でアンケートを取る機会があり、女性の家庭での役割に縛られているがそれを良しとしている女性もいれば、もう少し頑張って働きたいがなかなか認めてもらえないという意見が少数ではあるがあった。家庭であったり女性自身であったりの考え方によるが、誰もがみんな活躍したいと考えているわけではない。それ

	<p>ぞれの価値観に応じてその中でも幸せになれるような環境を整えてあげるのが経営者の責任だと思う。ただし男性の育児休暇に目を向けた時に取得しやすい環境であるかという点はまだ理解が得られず体制が不十分という状況である。</p>
倉内課長	<p>育児休暇は制度改正により分割取得出来るようになるので多少はハードルが下がると思うが、実際に取得となると経営者だけでなく男性も女性も関係なくみんなの意識を変えなければならぬので、難しい部分は非常に多いと思う。</p>
C氏	<p>職場が変わることは非常に大切だと思う。現在急速に少子化が進んでいるが、暮らしを支えるのも仕事出来る職場を支えるのも少子化問題とイコールであると考えているので育てにくい所には人は来ないと思う。</p>
倉内課長	<p>大きい企業だけであるが、色々と公表しなければならなくなっている中で、淘汰される企業があれば経営者も考え方が変わっていくと思う。若い方たちが就職先を選ぶときにそういったことを加味する世の中になれば、企業としても変わらなければ優秀な人材が入ってこなくなる。</p>
A氏	<p>セミナーの内容はこれから詰めることになると思うが、企画書の指摘事項として、経営者や人事を対象にしているのに周知方法が市報やSNSなどとなっている。企業の経営者などを集めるのであれば産業振興課がやっているように標的を絞り、開催日時と内容を伝え参加者の氏名と役職を報告してもらうようダイレクトメールを送り、企業から1名参加してもらうようにした方がよい。</p>
倉内課長	<p>市民課として直接声掛けするよりも、産業振興課から工業会や商工会等と大きな企業に声掛けをしてもらい参加を促すのも一つの方法だと考えているので、周知方法はこれから検討する。</p>
D氏	<p>組合があるところは多少なり変わってきているので、5から20人くらいの企業に来ていただき、こういう流れになっているんだなということをまずは知ってもらうことから始めていった方がいいと思う。</p>
A氏	<p>開催日時については参加しやすい日にちや時間帯を検討してもらいたい。</p>
尾崎主任	<p>先日新潟県中小企業家同友会佐渡支部の方と打ち合わせをし、開催日時は平日の午後からであれば業務の一環として参加させやすいという意見をいただいたので、平日の午後開催で進めている。</p>
座長	<p>(4) その他について事務局から何かありますか。</p>
尾崎主任	<p>懇談会の開催方法について委員の方から、遠いところから来られる委員もいるのでオンラインで開催したらどうかという意見をいただきましたがいかがでしょうか。</p>
A氏	<p>3月まで別の委員を務めていて、大学の先生がわざわざ船に乗ってくるのが無駄なことをしていると感じてオンラインでも良いと考えていたが、その先生が県外に転勤になりオンラインで参加してくれたことがあった。直接会ってアドバイスを頂いた時は理解できたのに、オンラインになったらテレビの講座を見ているような感じになった。オンラインが良いと思っていたが、直接来てもらった方がいいと実感した。オンラインの環境がない人も居るので一長一短だと思う。</p>
座長	<p>事務局から提案ではないけどこういう方法もあるということですが、いかがでしょうか</p>

	か。
B氏	対面でないと人って本当の意味で共感できないのかなと思うので対面でいいと思う。
D氏	オンラインだとこの雰囲気伝わらないので対面がいいと思う。
C氏	皆さんの考えを知りたいし、どういった意見や考え方は顔を合わさないと分からないので対面でやっていただきたい。
座長	色々な意見が出ましたが、これからも従来どおりの開催とします。他に事務局からありますか。
尾崎主任	委員の追加について、以前の議事録を確認したところ経営者を加えた方がよいのではという意見があった。今回新潟県中小企業家同友会佐渡支部との繋がりができたので打診してよいか。
座長	皆さんよろしいでしょうか。それではみなさんから活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。